

1	審議会名	第3回真田地域協議会
2	日時	令和5年6月27日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、金井由造 委員、澁澤春代 委員、清水由香 委員、関口俊行 委員、高寺由美子 委員、田畑和秀 委員、中村守 委員、廣瀬しず江 委員、堀内和子 委員、堀内靖子 委員、本多美和 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、宮島淳 委員、柳沢泉 委員、柳沢芳明 委員
5	市側出席者	田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、田中真田地域建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年6月29日

協議事項等

会議次第

1 開会 (中村副会長進行)2 会長あいさつ3 センター長あいさつ4 地域のデジタル化の推進について(地域振興課)

- ・ 地域振興課長、地域政策担当から背景並びに主旨等の説明。

【質疑】

(委員) 上田市のメール配信はこの真田地域ではどの程度配信を受けているのか。

(地域政策担当) 上田市全体の配信数の最新の情報は持ち合わせてはいないが、真田地域に限定した情報を取り扱う『真田地域の情報』という項目があり、項目ごとの個別の受信設定が可能となっている。こちらは上田市メール配信と合わせて上田市公式 LINE にも同様の内容で配信される。これらあわせて4,000件を超える受信設定をいただいている。真田地域の世帯数は概ね3,400世帯程度となっているが、もともとの『真田地域の情報』の配信目標を一世帯一受信としていることもあり、今後も登録件数の推進については取り組んでいきたいと思っている。

(委員) (デジタル化の推進が)進んでいるということをお話いただいたが、(デジタル化に)取り残さないための政策や具体例について聞きたい。スマホ講座なども関心のない人がいるが、そういった人にとってどのように声をかけていくかなど、そういった優しさが求められていくと思うがどのように考えるか。

(地域政策担当) まず、一つは「やってみたい」という気持ちを持っている方については、先ほどの公民館講座としてのスマホ講座だが、市内で継続してスマホ講座を実施しているのは真田中央公民館だけだと聞いている。こういったものをまずはやってみたい、という気持ちに寄り添い、初めてスマホに触れる人が楽しいと思える内容の講座設計や、要望に応じていければと思う。

また、なかなか関心を持ってない方に対してどのようにデジタル活用を進めていけばいいのかという点について、タブレットを一例とした事業を考えている。もちろん検討段階でも希望する方、という前提があるのだが、慣れ親しんだ有線放送のスピーカーのように、操作しなくても情報が流れてくるという機能に対しては、デジタル機器に対してネガティブなイメージをお持ちにならないと考えている。今後、そのような機能などへの理解が進み、デジタル化の推進に地域の御理解が深まることで、こういっ

た機器の設置により、希望する方全てがデジタル機器の活用に対して取り残されず、推進をしていけると考えている。

(委員) スマホ講座が何度もあるということは、一度逃してもまたいけるといふ安心感があるのでとてもいい取り組みでありがたいと思う。また、タブレット端末については、そういったものを利用するチャンスについてもっと踏み込んで取り組んでいただきたいと思う。例えば有線放送の残金の利活用もあるので、無償貸出制度を作って使ってみてもらふチャンスなどを与えてもらえると助かる。地域のデジタル化の推進を進めてもらって大変ありがたいと思っている。

(地域政策担当) 貴重な御意見ありがとうございます。お話しにもあった有線放送の積立金についても、もちろんこの財源も有限の残高のあるものなので、いかにタブレットを例とした事業の機能が無理なく皆さんの生活の中に落とし込んでいけるか、またそれらをきっかけとしてデジタル技術が有用なのだというような前向きな気持ちを持ってもらえよう事業を、皆様の御意見を聞きながら検討していきたいと考えている。

(委員) デジタル化を進めていく上で、Wi-fi の設備がどの程度進んでいるかを聞きたい。この自治センターはどうなのか。

(センター長) この4月から真田地域自治センターのWi-fi 環境が整った。公共的施設としては、アリーナやサニアパークなども整備されているが、リゾートセンターは、電波が弱い。

(委員) 通っていないわけではなく、弱い。大事なことなので進めてもらいたい。

(委員) 自治会では、災害時など公民館に集まると思うが、有線放送が無くなったことで今の環境では情報収集などの観点からも(Wi-fi 環境が必要だと思うので)優先順位なども見ながらそういった施設も進めてもらいたい。

(地域政策担当) 各自治会のWi-fi 設備について、危機管理防災課の方でも進めている「自主防災組織資機材購入補助金」などでもCATV(地元ケーブルテレビ)の設置、またそれら有線光ケーブルを使ったネットワーク環境の構築について補助がある。私のきいている中でも、とある自治会で公民館を今後も防災拠点として活用していきたいという自治会においては、公民館のWi-fi 化も進めていると聞いている。地域の安心拠点としての公民館の環境整備については、今後も地域の御相談を受けながら環境整備の支援をしていきたい。

5 協議事項

(1) 第4回真田地域協議会の開催内容と開催時間の検討について

(事務局から提案)

- ① 第4回地域協議会の内容を、地域の公共施設の視察としたい
- ② 施設の視察の実施に関して、地域協議会開催時間を令和5年7月25日(火)午後3時からとしたい

【質問】

(委員) 公共施設の見学ということだが、一度で全部回るのか、今回は重点的に一か所を見て、これからは何回かに分けて施設を回るといふことか。

(事務局) 現在の検討の状況だが、案として菅平高原自然館と総合福祉センターをこの日に一日で回りたいたいと思う。ただ見て回るだけでなく、移動中の車内や施設見学後一度こちらの会場に戻り説明の時間もあったほうが、皆さんの理解も深まるだろうといふことで検討していく。

(委員) 見学してきた後の日程についてはどのような日程を考えているか。

(事務局) バスで自治センターから菅平にのぼり、自然館を視察後、こちらまで戻ってきて福祉センターの視察、その後はこちらの講堂で少し意見交換などの時間が持てればと考えている。

(委員) 全体の終了時間はどうか。

(事務局) 終了時間は5時から5時半ぐらいを予定している。

《その他質問等無し》

- ・提案どおり、7月25日(火)午後3時から開催の変更で決定。移動は庁用バス。
詳細は正副会長と事務局にて協議。

6 報告・確認事項

(1) 今後の地域での事業予定等について

(事務局から)

- ・7月から地域づくり委員会が開催される。各代表として参加される方には協力願いたい。また、本日お伝えした「地域のデジタル化の推進」についても同様の資料を入れているのでご承知いただきたい。
- ・来月の地域協議会終了後、懇親会を開催したいと提案を受けた。今後の地域の重要事項を決定するにあたり、ざっくばらんに意見を出し合うためにも懇親の場として設定させていただきたい。早めに予定を皆さんにお知らせしていく。

(2) その他

(産業観光課長)

- ・先月の地域協議会において質問のあった、菅平高原自然館の入場者数についてまとめた表をお配りする。近年は小学校の社会科見学も減少する中で入場者数も減少している。次回の視察研修も含め参考にご覧いただきたい。

(真田消防署)

- ・令和5年度自治会消防施設整備事業の補助金について、真田地域31自治会からの要望で103万3千円の補助金となっている。令和4年度は26自治会から156万3千円となっている。来年度予算については現時点で確定的なことは申し上げられないが引き続き地域からの要望についてまとめる。

7 閉会